

## 紹介

坂野正高・田中正俊・衛藤藩吉編

### 『近代中国研究入門』

本書は、中国近・現代史研究に精力的に取り組んでこられた諸氏が、各自の専門分野を個性的に担当された入門書である。序文に続く内容とその担当者は以下の通りである。

- I 研究のための工具類(市古宙三氏)、
- II 文学と文章(前野直彬氏)、III 社会経済史——論文の出来るまで・一つの実験(田中正俊氏)、IV 政治外交史——清末の根本資料を中心として(坂野正高氏)、
- V 政治外交史——辛亥革命以後(衛藤藩吉氏)、VI 清朝の法制(滋賀秀三氏)、
- VII 現代の中国法(浅井敦氏)、VIII 現代の中国经济(石川滋氏)、座談会・中国研究の回顧と展望。

与えられた紙幅も少ないので、以下順をおって簡単に紹介しよう。

Iでは、研究に不可欠な工具類(文献目録、蔵書目録、辞典など)についての親切な説明がされている。市古氏は「近代中国研究センター彙報」等で既にこの種のものを発表されており、Iはそれらの集大成ともいえよう。単に近代中国史を専攻するものに限らず、広く中国史専攻者にとっても甚だ便利である。

IIで前野氏は中国文学史の中に清末を位置づけ、詩・文・小説の読み方を解説されている。中国文学史の大きな流れにも触れており、また、上奏文などでは知り得ない官僚の心情が詩に吐露されるという指摘など、歴史研究における文学の役割についても随処で興味深く説明されている。

IIIで田中氏は「下関条約第六条第三項第四の歴史的意義」について歴史叙述をするという問題設定の下に、氏なりに研究方法を述べられている。学説史整理・篇別構成など、かなり具体的に研究方法を述べ、また、社会経済史の重要な資料文献である地方志の説明にも説き及んでおられる。

IV・Vは中国近・現代の政治外交史の入

門手引である。IVで坂野氏は清末外交史の根本資料——例えば、英国の『ブルーブック』、清朝の『籌辦夷務始末』——について詳細に解説されており、外交史専攻者の必見に値する。Vで衛藤氏は、その時代を知るには下手な論文よりも小説の方がよいと主張されて若干の小説類の紹介から説き起こし、ついで研究対象へのアプローチの仕方にも触れ、最後に、基本的な文献を研究対象別・時代順に挙げておられる。

VIで滋賀氏は『大清律例』について、中国における『律』の歴史を踏まえながら、懇切丁寧に解説されている。なお、会典・則例・省例等にも触れ、研究文献も挙げておられる。

VII・VIIIは現代中国に関するものである。浅井氏は法制を、石川氏は経済を解説されているが、両氏とも現代中国研究の困難な情況に触れるとともに、氏なりの研究方法を提示され、最近の研究動向をも述べておられる。

以上、簡単に本書の内容を紹介した。現在、近代中国史への関心が高まっている情

況の中で、本書が出版されたことは非常に喜ばしいことである。このようなマニエールは誰もが待望していたものであり、むしろ今までなかったことの方が不思議である。しかし、かかる仕事は長年にわたる研鑽があつて、はじめて可能であろう。われわれ後学は、本書の出現を便なりと喜ぶと同時に、本書に寄り掛かつて安易な近道に墮する陥穽をも自戒すべきであらう。

なお、巻末に附された座談会は、担当者各位が本書作成に際して懷かれた感慨を読む者に伝えてくれると同時に、近・現代中国に関する研究史と課題にも言及されたい。必ず併読されることをおすすすめしたい。

(B6判 本文四四二頁、一九七四年四月 東京大学出版会 一、六〇〇円)

(井上裕正・京都大学大学院生)

『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです。

◇資格 本会会員であること

◇投稿受付原稿の種類、長さなど

○研究論文・研究ノート

四〇〇字詰五〇枚程度

研究論文には四〇〇字以内の「要約」と、

「英文要約」を添付のこと(研究ノ

トには両方とも不要)

註は原則として各章末に入れること

○学界動向・批判と反省

四〇〇字詰三〇枚以内

○書評 四〇〇字詰二〇枚以内

○紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇送先 史林編集委員会

〒六〇六 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

バックナンバーのお知らせ

『史林』バックナンバーの在庫分に変動があります。現在の在庫分は次の通りです。お申込は必ず前金にて郵送の場合は送料

(各冊三〇〇円)を添えて下さい。

三八巻四号 三九巻六号

四〇巻五・六号 四二巻四・五号

四三巻二・六号 四四巻一・六号

四五巻二号 四六巻五号

四七巻一・六号 四八巻四・五号

四九巻二・六号 五〇巻一・四号

五一巻一・六号 五二巻一・六号

五三巻一・六号 五四巻一・六号

五五巻一・六号 五六巻一・六号

五七巻一・六号

頒価は五五巻二号までは三五〇円、五五巻三号～五六巻六号は四五〇円、五七巻一号以降は六〇〇円です。

一九七四年一月二五日印刷 定価六〇〇円  
一九七四年一月一日発行

史林 (第五七巻第六号)

発行人 史学研究会

京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部

理事長 今津晃  
振替京都五一五五番

印刷所 中村印刷株式会社  
京都市下京区七条御所ノ内中町五〇